

6

1人1日166gの減量を目指して

「ごみの減量化・資源化等についで」報告書を提出

Reduction of Waste

平成25年7月に、田原市ごみ処理基本計画に定められたごみの排出抑制などの施策を推進するため、田原市ごみ処理対策推進協議会を発足しました。

協議会ではごみの現状と課題を整理し、先進地の取り組みなど参考にしながら、ごみを減量するにはどのような手法が良いのか、これまで勉強会を含め11回にわたり、積極的に意見交換を行いました。



10月2日に村上誠会長から鈴木市長に家庭系ごみ減量化等に関する検討報告書が提出されました。

◆ごみの現状と減量目標

平成25年度の1人1日当たりの田原市ごみ排出量は、平成24年度の全国値と愛知県値をそれぞれ上回っています。

平成24年2月に策定した田原市ごみ処理基本計画では、ごみ排出量の目標を定めています。市民の皆さん

平成24年度1人一日当たりのごみ排出量 (田原市は25年度実績)



市民の皆さんについて、家庭から出る資源とならざるごみ以外の360gにすることが目標です。

この減量目標を達成するには、1人1日当たり新聞紙1日分(166g)のごみを減らすこととなります。



◆ごみの減量・資源化のための役割

市民の皆さんと行政の役割分担をし、やるべきことを明確にしました。



◆市民の役割

市民の皆さんは「もったいない」という気持ちでライフスタイルを見直し、ごみの発生・排出量を減らし、再使用、再生利用を心がけましょう。

◆行政の役割

市は、ごみの発生・排出抑制、再使用、再生利用に向けた活動が円滑に行われるよう、ごみの収集頻度や回収方法の整備、ごみ減量やリサイクルに取り組み市民団体などへの支援などの仕組みづくりに積極的に取り組みます。



◆ごみ有料化の導入

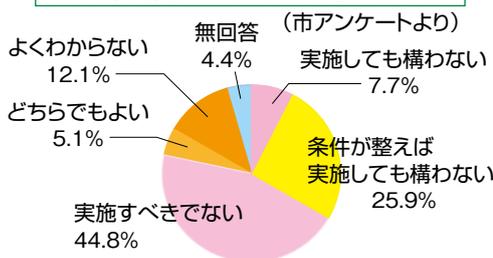
ごみ有料化は、市民の皆さんがごみ問題に関心を持ち、公平に負担することを中心としたごみの発生抑制、ごみの減量化、リサイクルの促進を図るための方策です。しかし、有料化ありきでなく、前

ことで大きな効果を生むと考えています。

◆これからどうなるの？

今回の報告書を受けてごみ有料化の導入を含めたごみの減量化・資源化に向

◆ごみ有料化についてどう思いますか



けて、具体的検討することになります。平成25年7月に実施した「ごみ処理に関する

アンケート調査」の結果では、ごみ有料化を実施すべきでないという回答の方が多く結果となりました。理由として「不法投棄が増え、環境や景観が悪化するから」と回答した方が78%でした。ごみ有料化を検討する上では、不法投棄対策など周辺環境が悪化しないための対策が必要で

ごみの減量化・資源化行動は、今からでも起こすことができます。市民の皆さんと一緒にごみ問題について考えていきたいと思